

教科名（科目名）	国語科（現代文B）	学校名	北稜高等学校
----------	-----------	-----	--------

単元名 (学習指導要領)	話し合い・発表を通して、『永訣の朝』の読み方を修正し、意図をとらえる 内容(1) イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。
-----------------	---

1 単元の目標

近代以降の代表的詩歌である『永訣の朝』に用いられている語句の本文中での意味を考えさせ、話し合いの場を設定して生徒間で個々の考えを修正し発表することで、作品を的確に理解し、適切に表現する能力の養成と、国語の向上を図る態度の涵養を目指す。

2 単元の展開（全4時間）

段階	学習活動	指導上の留意点
第一次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 「雪」（三好達治）を朗読し、聞き取りテストとして書き取らせる。 「雪」の時間・場所・人物を確認する。 雪にまつわる言葉を学習したのち、「雪」で降っている雪として適切な名称を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業へ集中力をつけるとともに、漢字・平仮名・句読点の表記の使い分けに着目させる。 作品のイメージを具体的なものにしていく。 まず個人で考え、次に4人1組で話し合い、答えを修正して発表させ、更に教師が修正する。
第二次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 「永訣の朝」（宮沢賢治）を朗読し、表現上の特徴を答えさせる。 「永訣の朝」に設定された状況を確認する。 詩歌における表現を学習したのち、「永訣の朝」の「みぞれ」の比喻を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 方言・同じ表現の繰り返し・表現の変化に着目させ、作者の意図を想像させる。 作品に登場する具体的なものの役割をおさえる。 まず個人で考え、次に4人1組で話し合い、答えを修正して発表させ、更に教師が修正する。
第三次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 「永訣の朝」の「みんな」の対象を現在の世界に置き換えて、考えさせる。 「永訣の朝」の中で好きな句を選ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「おまえとみんなとに」の部分が最終的に追加されたことを指摘して、具体的に考えさせる。 理由をつけて選ばせ、発表することで多様な視点を理解する。

3 解説

今回、新学習指導要領の先行実施に伴い授業改善をする機会を得て、現代文の授業の意義について考察した。

現在は、インターネットの普及により、情報の収集は容易になり、情報の信頼性が重要視されるようになった。検索エンジンの Google は検索度数の多さにより情報の提示順位を決定し、フリー百科事典の Wikipedia は修正を加えることで内容の精度を高めている。

授業の目的が解釈の伝達であれば、教室以外の場所でも解説書や参考書を読むことで目的を達することができる。教室で授業を受ける最も重要な意義は、生徒に解釈を作らせ、他の解釈に接することで刺激を受けることにある。また、受験指導に効果的な方法として、生徒の解答を添削したものを誤用例として示し注意を喚起することがある。そこで、まず生徒が個人で解釈を作り、次にグループで話し合うことで修正し発表する活動を取り入れた。更に、生徒の解答を教師が公開添削をすることで補正するようにした。

このプロジェクトの研究テーマは、「言語活動の基盤となる実践的な読解力・表現力の育成」である。

新学習指導要領では現代文Bの内容の取扱い(1)に「総合的な言語能力を養うため、話すこと・聞くこと、書くこと・及び読むことについて相互に密接な関係を図り、効果的に指導するようにする。」とあり、総合的な言語能力を養わせることがねらいとされている。

今回の授業においても、まず生徒個人で作品を読み、考えを書き、次にグループで相互に考えを話すと同時に他の考えを聞き、全体の考えをまとめる活動を行うことで四技能の育成を図った。「雪」では登場する雪の実例を考える過程で、雪にまつわる言葉を学習し語彙を増やし、その知識を活用して作品世界を想像する力を養った。「永訣の朝」に登場するみぞれの比喻を考える過程で、詩における表現技法を学習し効果を考え、その技能を活用して省略されている内容を想像する力を養った。

さらに、「永訣の朝」では妹の死去を悼みつつ「みんな」の平穏を願っているが、宮沢賢治が現在の世界にいたら、どのような人々を「みんな」の対象とするかと生徒に考えさせたところ、日本の震災や世界の紛争の被害者を挙げることができた。そこで、成果としては、今回の指導において活用型学力の育成をとおして学習の質が上がり、新学習指導要領で重視されている、文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高め、国語の向上を図ることにつながったと考えられる。

4 参考資料

『大人のための国語教科書』 小森陽一著(角川oneテーマ21)

『空の名前』 高橋健司著(角川書店)

『永訣の朝復刻原稿』 宮沢賢治著(宮沢賢治記念会)

『春の先の春へ 震災への鎮魂歌』 古川日出男著(左右社)

『中学・高等学校ディベート授業が楽々できるワークシート』 池田修著(学事出版)

現代文B参考資料

(個人シート)

課 題	
--------	--

解答者	()年()組()番・氏名()
-----	--------------------

解 答	
理 由	

(グループシート)

課 題	
--------	--

役割名	()班	①司会()	②発表()
		③記録()	④記録()

解 答	
理 由	

教科名 (科目名)	国語科 (古典A)	学校名	北稜高等学校
-----------	-----------	-----	--------

単元名 (学習指導要領)	音読・暗唱を通して、『源氏物語』の文体に親しみ、関心や理解を深める 内容 (2) ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。
-----------------	---

1 単元の目標

音読・暗唱を重視して、わが国の代表的古典文学である『源氏物語』の文体に親しませることを軸に、双方向のやりとりを介した逐語訳的解釈および文法的理解に基づき、基礎的な古典読解の能力の養成と、古典を愛する態度の涵養を目指す。

2 単元の展開 (全6時間)

段階	学習活動	指導上の留意点
第一次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 難読古語や古典常識を口頭で復習し、文学史的知識をノートに整理して記述させる。 冒頭部の範読を参考にして教科書にルビをふらせ、冒頭部を板書し音読・暗唱させる。 冒頭部を句読点毎に範読して、助動詞を指摘させ、活用形と意味を解答させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発声により生徒の集中を促し、覚えていない場合や新出事項は必ず復唱させ、学習状況を確認する。 ルビをふることで読みの抵抗を減らして、知識の精度を高め、一斉読みで文体に慣れさせる。 助動詞の個数や基本形を教えるなど手掛かりを与え、指名して発表させ確認する。
第二次 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> 難読古語や古典常識を口頭で復習する。 「桐壺」第一段落の本文プリントを配布し、品詞分解と助動詞の意味を確認し、場合によっては口頭で確認テストをする。 説明を加えつつ逐語訳をして文意を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の導入で毎時間、継続して確認する。 冒頭文を文節毎に板書し、暗唱させたのち、行末から徐々に消して行頭を残し、最終的には何も見ずに暗唱できるようにする。 現代語訳は板書せず、生徒に指名し発表させる。
第三次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 注意する語の確認や誤りやすい語の識別をする。 敬語の種類と敬意の方向の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元毎に演習を繰り返すことで知識の定着を図る。 敬語を手掛かりにして複雑な人間関係を整理する。

3 解説

これまで継続して学習してきた古文の知識をふまえ、文脈に沿って正しく読解し、鑑賞を深める教材として設定する。既習事項の「敬語の用法」や、登場人物を整理しながら読む能力をさらに伸ばしたいと考えた。

これまで『伊勢物語』『大鏡』の単元で、歌物語・歴史物語それぞれの傑作に触れ、その魅力を読み味わってきた。それらに続き、我が国の代表的古典文学である『源氏物語』を読むことで、よりいっそう古典に親しむ態度を涵養しようとした。

主人公光源氏とその周辺人物の動きを中心に、描かれる人生の諸相が、根底において生徒たちの日常と必ずしも隔絶していないことを知らせるよう工夫して指導した。

現行の学習指導要領における「古典」の目標には、「古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる」とある。

ここでいう「読む能力」とは、「文法、語彙、文学史的背景」といった知識面の習得と、「文章や作品に表れた思想や感情」といった内容面の理解・共感（追体験）の双方が含まれると思われる。

新学習指導要領ではこれに、「我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる（古典A）」「古典についての理解や関心を深めること（古典B）」という文言が加わる。

その中でも特に、古典A「内容」に示された「(1)古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること」や、古典B「内容の取り扱い」に示された「(2)古典を読み深めるため、音読、朗読、暗唱などを取り入れるようにする」といったことが、従来の古典授業に欠けがちであった実態を踏まえ、あえて明記されたのではないかと考える。今後の指導では、音読・暗唱が重視されていくであろうと予想する。

今回の単元で当初、生徒は授業の展開の速さに戸惑ったが、同じ展開を繰り返すことで徐々に慣れて、助動詞の識別も短時間でできるようになった。また、板書は本文と品詞分解のみとして、現代語訳は口頭で説明することで、板書を見て現代語訳ができるようになった。そして、生徒による活動を取り入れることで、古典の時間が楽しみである生徒が増え、意欲・関心とともに集中力が高まった。そこで、成果としては、今回の指導が新学習指導要領で重視されている、基礎的・基本的な知識・技能の習得という言語活動の充実につながったと考えられる。

4 参考資料

『古文研究法』小西甚一著（洛陽社）

『「分かりやすい教え方」の技術』藤沢晃治著（講談社ブルーバックス）

『教育力』齋藤孝著（岩波新書）

『高校生が夢中になる知的な授業』太田輝昭著（明治書院）

文法講習 「に」の識別 学習のポイント

① 断定の助動詞「なり」の連用形

接続 → 体言・連体形
ヒント → 「に」+助動詞+「あり」の形で出てくることが多い。
「あり」以外に「はべり」「さぶらふ」もある。
※この「に」が「ニテアル」と訳せるかどうかを必ず確認しよう。

用例 → そのしずくは雨に^ニなむありける。

② 完了の助動詞「ぬ」の連用形

接続 → 連用形
ヒント → 「にけり」「にき」「にたり」の形で出てくることが多い。たいてい接続で判別できる。
※「に」を「ぬ」に置き換えて文を終止できるかを確認する方法もあるが、まずは「にき・にけり・にたり」を覚えるだけでOK。

用例 → 雨、降り^ニにけり。

③ 格助詞「に」

接続 → 体言・連体形
ヒント → 「ニ」と訳せれば格助詞をまず考える。
※連体形に接続している時は、連体形の下に「トキ」「コト」「モノ」などの体言を補って訳す。

注意 → 連用形に接続し、動作の目的を示す特殊な用法がある。この場合は「…(タス)ニ」と訳す→【C】。また、「ヒタスラ…スル」の意で、動詞の連用形を反復する場合も格助詞「に」を用いる→【D】。

- 用例 → A 今宵は雨^ニならむ。【体言に接続】
B 傘は雨降る^ニこそ持つべけれ。【連体形に接続】
C 傘取り^ニ帰るに、雨止みぬ。【連用形に接続】
D 雨は降り^ニ降りて、止まず。【連用形に接続】

④ 接続助詞「に」

接続 → 連体形
ヒント → 連体形に接続した「に」の下に読点「、」がついている場合、接続助詞の可能性は高い。
※また、この「に」の上に体言が補えなくて「ニ」と訳すと日本語として変になるので、必ず訳してみても格助詞と区別すること。

用例 → 雨など降る^ニ、傘も持たず帰りぬ。

⑤ 形容動詞(ナリ活用)の連用形の活用語尾

ヒント → 形容動詞の語幹の前に「いと」を補って「トテモ○○タ」と訳せる。特に「○○ニ」「○○に」という形容動詞はすぐわかるはず。

用例 → 雨はおどろおどろしげ^ニに降りけり。

⑥ ナ行変格活用の動詞の連用形の活用語尾

ヒント → ナ変動詞は「死ぬ」「往去ぬ」しかないので活用をしつかり覚えておこう。

用例 → 雨降りて皆^ニ往^ニにけり。

⑦ 副詞の一部

ヒント → 「げに」「まことに」「さらに」など、主な副詞を覚えること。

用例 → こと^ニ雨の降る夜なりけり。

⑧ その他

ヒント → 助動詞「やうなり」の連用形の一部(やうに)、格助詞「にて」の一部、名詞の一部…など

基本問題

次の空欄を埋めて、活用表を完成させよ。(教科書・文法書を参照してよい)

活用表: 未然形, 連用形, 終止形, 連体形, 已然形, 命令形. 動詞(ナ変), 助動詞(完了), 助動詞(断定), 形容動詞(ナリ活用)

演習問題1

次の傍線部の「に」は上記①~⑧のどれか。番号で答えよ。

- a 思ほえず、いとはしたなくてありければ、心地惑ひ^ニにけり。(伊勢物語)
b 涙落つとも覚えぬ^ニ、枕浮くばかりになり^ニにけり。(源氏物語)
c 男、異心ありてかかる^ニやあらむと思ひ疑ひて、(伊勢物語)
d まだいといはけなくをかしげ^ニておはす。(源氏物語)
e 残りなくいくさに出でてみな死^ニにけり。(古今和歌集)
f ゆきゆきて駿河の国^ニに至りぬ。(伊勢物語)
g さらに^ニこそ信ぜられぬ。(大鏡)
h 十月つごもりなる^ニ、紅葉散らで盛りなり。(夏経日記)
i これは菟の仕業^ニこそありけれ。(竹取物語)
j その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。(竹取物語)
k この吹く風は良き方の風なり。悪しき方の風^ニはあらず。(竹取物語)
l 賀茂の競べ馬を見はべりし^ニ、車の前に雑人立ち隔てて見えざりしかば、(徒然草)
m あづまの方に住むべき国求め^ニとて行きけり。(伊勢物語)
n 春の行方知らぬも、なほあはれ^ニ情け深し。(徒然草)

空欄表: a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n

演習問題2

次に挙げる傍線部の「に」は、上記①~⑧のどれか。(源氏物語、桐壺(一)から抜粋)

- a いとやむことなきは^ニはあらぬが、
b めざましきもの^ニ、おとしめ、それみたまふ。
c 恨みを負ふ積もり^ニやありけむ、
d もの心細げ^ニに里がちなるを、いよいよ飽かず
e 世のためし^ニにもなりぬべき御もてなしなり。
f かかる事の起こり^ニこそ、世も乱れ悪しかりけれと、
g 楊貴妃のためしも引きいでつづくなりゆくに、
h かたしけなき御心ばへのたぐひなきを頼み^ニにて、
i 母北の方なむ、いにしへの人のよしある^ニにて、
j 世のおぼえはなやかなる御方々^ニもいたう劣らず、

空欄表: a, b, c, d, e, f, g, h, i, j

教科名（科目名）	国語科（古典B）	学校名	北稜高等学校
----------	----------	-----	--------

単元名 (学習指導要領)	様々な資料を通して、『鴻門の会』の世界を想像し、伝え合う 内容(2)エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。
-----------------	--

1 単元の目標

資料を活用して、わが国に古くから親しまれてきた古典作品である『鴻門の会』の内容を「かわら版」にすることで、表現活動に基づき、能動的な学習姿勢への転換と、人生を豊かにする態度の涵養を目指す。

2 単元の展開（全6時間）

段階	学習活動	指導上の留意点
第一次 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・「鴻門の会」の歴史的背景を説明し、関連作品やエピソードの紹介をする。 ・本文を範読し、生徒ペアで本文音読と返り点打ちを交互に行う。 ・助詞・助動詞・置き字を確認し、本文の内容を説明し、白文を読む練習と確認をする。 ・かわら版の作成について説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かわら版作成の指導については、読者を惹きつける効果的な見出し、立場に基づく視点をしっかり持った記述、出来事を要領よくまとめた概略の記述、参考文献にあたり必要な情報を集めようとした姿勢、登場人物への理解を深めようと努めた姿勢、登場人物の人物を感じさせるような会話の表現の工夫などの点に留意する。
第二次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを指示して、かわら版を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間外の作業や図書室の参考文献の活用を促す。
第三次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・かわら版発表会として、生徒達を4グループに分け、各グループで10名分程度かわら版を読ませ、優れたかわら版の選考を行い、代表者に優秀作品として選んだ理由を述べてから発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かわら版発表の指導については、他のかわら版を読んでものの見方を広げ感じ方を豊かにする姿勢、基準に沿ってかわら版を評価する自分の考え、互いの立場や考えを尊重して下した評価についての話し合い、発表の場に応じた適切な話し方や聞き方などの点に留意する。

3 解説

平成25年度より実施される新学習指導要領では、第1節・第1款「目標」に「想像力」という語が付け加わっているが、ここに言う「想像力」とは指導要領解説によれば「様々な資料を基に」すべきものであり、「根拠に基づき先を見通す」論理的な側面もあると述べられている。今回の漢文かわら版作成にあたってはこの点に留意し、図書部に依頼、府立図書館からも蔵書をお借りして参考文献をそろえたコーナーを設置していただいた。そして、自分の頭だけで考えるのではなく、図書等を参考にして有用な情報を探し、それを基にして想像力を働かせ、漢文かわら版を作成するよう指導した。（実際にはマンガやインターネットを利用した生徒が多かった。）このような学習活動を通して、生徒の心情を豊かにすることを目指す。グループによる話し合い・発表形式の授業については、学習指導要領の第1節・第1款「目標」にある「伝え合う力を高める」ことを目指した。指導要領解説では「互いの立場や考えを尊重しながら」、「円滑に相互伝達、相互理解を進めていく能力」が「伝え合う力」であり、今後はこのような力を高めることを通して、「良好な人間関係づくりや健全な社会づくりに積極的に関わろうとする意欲や態度」を育成することが求められている。1グループ7名という少人数のグループで評価基準の軽重やそれぞれが出した評価について意見を交換し、合意を築きながらより優れた作品を選ぶことで、「伝え合う力」を高めることを目指した。

今回のかわら版作成にあたって、図書などの情報を参考にして取り組むよう指導したが、結果はインターネット利用が22名、図書利用が13名（内マンガ5名）であった。大学生のレポートにおけるコピーアンドペーストが話題になっている昨今、高校生とて例外ではないことをあらためて思い知らされた。この点について、意図してはいなかったものの上手くいったのが「登場人物へのインタビュー」の部分であった。この部分に関しては、登場人物の生の声を載せなければならないので、インターネットからのコピーは通用しない。どうしても一度自分の中に情報を取り込んで、登場人物のフィルターをかけて、生きている者の声として出さなければならないのである。安易なインターネット利用をさせないために、我々の側に一工夫が求められていると思った。生徒は活動へ意欲・関心をもって取り組んでおり、古典の授業を楽しむことで、教材への理解が深まった。そこで、成果としては、今回の指導が新学習指導要領で重視されている、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決するという言語活動の充実につながったと考えられる。

4 参考資料

『項羽と劉邦』 司馬遼太郎著（新潮文庫）

『項羽と劉邦 若き獅子たち』 横山光輝著（潮出版社）

『新釈漢文大系 史記（本紀）』 吉田賢抗著（明治書院）

漢文
かわら版

平成二十三年 月 日

二年 組 番

記者氏名

[Dashed box for name]

へのインタビュー

記者雑感

[Large rounded rectangle for notes]

**漢文
かわら版**

平成二十年 月 日
二年 組 番
記者氏名 丙
立場 神公 の側

委員会 結束!

漢文かわら版の発行。毎週水曜日に発行する。今年度も、委員会が中心となって発行し、読者の声も取り入れていきたい。今年度も、委員会が中心となって発行し、読者の声も取り入れていきたい。今年度も、委員会が中心となって発行し、読者の声も取り入れていきたい。

委員名簿
・編集長: houshi.com/15.html
・副編集長: homepage3.nifty.com/sadaya/kawachi/kawachiphan.html

漢文 くのすいたしー

漢文は、毎週水曜日に発行する。今年度も、委員会が中心となって発行し、読者の声も取り入れていきたい。今年度も、委員会が中心となって発行し、読者の声も取り入れていきたい。今年度も、委員会が中心となって発行し、読者の声も取り入れていきたい。

記者連絡
この漢文かわら版の発行。毎週水曜日に発行する。今年度も、委員会が中心となって発行し、読者の声も取り入れていきたい。今年度も、委員会が中心となって発行し、読者の声も取り入れていきたい。

漢文かわら版 振り返りシート 二年 組 番 氏名

グループ内での役割分担について、自分が心掛けたことや他の人が頑張っていた点について書いてください。

心掛けたことは自分の持っている意見を
しっかりと話す時に誰か話を聞いてくれて
なぐりたとしてくれていた。君が上手く
進めてくれたのでスムーズに進めました。また
君と二人が率先して発表もしてくれて
助かりました。

他のグループが挙げた優秀作品も含めて、あなたが考える本日の漢文かわら版発表会での最優秀作品を一つ挙げてください(理由も含む)。

私は丙 さんの反転が一番良かったと思いました。
前回の漢文かわら版の書き方も上手にできていたけれど今回は
内容の量も定度も多かったと思いました。上のみず
下は漢文かわら版として書いてくれた。下の漢
文も発表だけでもなかなかいい感じでした。そして
初めて書いた漢文もとてもいい感じでした。漢文を
読んでくれたらいいなと思います。今日の
漢文かわら版も読んでくれたらいいなと思います。

	かわら版作成者氏名
見出し 読み手をひきつける工夫があるか。	
概略 要領よくまとまった文章になっているか。	
概略 項羽（又は沛公）の側から出来事を見て書いているか。	
インタビュー 登場人物の人柄が感じられる表現や内容になっているか。	
インタビュー 書いてあることから一步踏み込んだ内容になっているか。	
評価合計欄	

- ・評価は「とても優れている 2点」「よい 1点」としてください。
 - ・グループで評価項目の軽重について話し合い、最も重要な項目は×3、次に重要な項目は×2して評価合計を出してください。
- 最高点は16点となります。

漢文 かわら版

平成二二年 月 日
二年 組 番
記者氏名 甲
立書 項 甲 の 例

甲公逃げた

甲公と項甲が一橋に手を飲んでいました。すると
そこへ甲公側の榊會が乱入して二人を捕まえました。
項甲側の乙が「甲公は逃げた」と思いましたが、
実は甲公は二の甲を奪い取ったと主張し、
一橋に手を飲みました。榊會は呆れかたくな
る思いでしたが、急に乙と項甲に向かって甲公にな
らざるは度外かかると感じました。項甲はこの
堂々とした姿を見て、堅気と評することに
なりました。
そのすぐ後に事件が起きました。甲公が榊會を
逃がして逃げたのです。榊會は驚き、甲公を
捕まえたのです。しかし、これは榊會が知りた
くないことでした。甲公は逃げたことを
隠し、乙が甲公を捕まえたことを知らせた
事件は収束しました。

参考図書

北増 くのインタビュー

北増さんはこの夏の事件をどう思いましたか。
北増「白旗降の行動がすごいです。
「体が心だのです。」
北増「甲公に逃げられたらどうですか。」「逃げました。
ま、項甲さんの責任です。あの人は前からさ、し、道、固
まるところがありました。前々私御目をかけた人を推賞
したのですが、榊會に使われてしまいました。とるもとる
人も項甲さんに見切りをつけて、敵と成るでしょう。
北増さんより早く項甲さんは大人ですか。
北増「私の言葉をばいばいのずか、ねて耳にたてられたら
村人にあの人は、
「何をかばった様と叫びたいところなんです。」
ありがとうございます。」

記者総論

北増さんの項甲批判はすばらしいです。
あの人も項甲さんを推賞するところ。そんなところ
が、目撃者と項甲に回ると、その気持ちはどうなるか。

漢文かわら版 振り返りシート 二年 組 番 氏名

グループ内での役割分担について、自分が心掛けた
ことや他の人が頑張っていた点について書いてくだ
さい。

僕は評価項目の何を重視したら
いかを考えると、結局は、イミューの部
分が大事だと思ったから、そこを重視
した。グループ内の全員が、誰か発表したら
いいかと考えて、積極的、話し
合いをするのができてよかったです。

他のグループが挙げた優秀作品も含めて、あなたが
考える本日の漢文かわら版発表会での最優秀作品を
一つ挙げてください。(理由も含む)。

僕は 甲 君の作品が素晴らしいです。
その理由は、上半分の概略が簡単に、
まとめてあるのと、イミューの部分では、
授業ではやっていないようなことまで、
書いてあるのを見て、とても素晴らしい
です。

総合的な学習の時間「北稜エッセイ」の全体計画について

1 設定目標

本校では「テーマ性のある普通科」として、「自分で考え自分で表現する」ことを学習目標の一つに掲げ、各学年に「北稜エッセイⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を設定する。

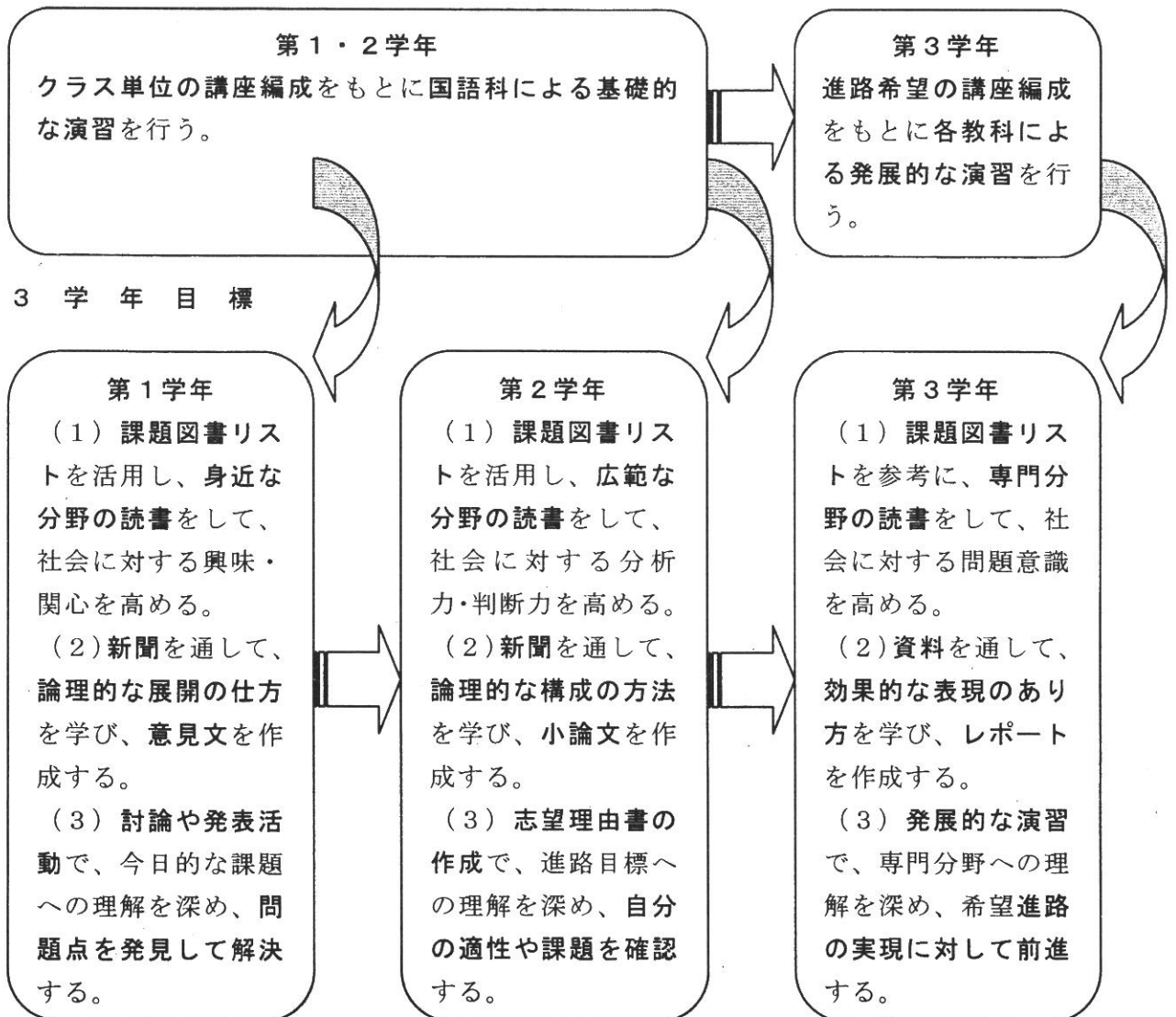
そこで、全ての教科の基礎学力となる「読解力」や「思考力」、「表現力」を養い、「意欲・関心」を高める。

具体的には、

- (1) 計画的な読書で様々な分野に対する読解力を伸ばす。
- (2) 新聞や資料で小論文を作成する論理的思考力や表現力を育てる。
- (3) 意見交流や進路学習で問題発見能力や解決能力を培う。

の点に留意する。

2 指導体制



北稜エッセイ 実施マニユアル

コンセンサスゲーム 「砂漠での生き残り」

- 1 プリント①配布 ゲームの説明 個人での解答記入 グループ分けカード引き実施 (10分)
◎個人での解答を記入させながら、ABCDEなどとグループ分けを記入したカードを引かせて、グループを決定する。
- 2 各グループに分かれて、机を寄せ合い、話し合いで順番をつける。(25分)
- 3 プリント②(解答編) 配布 プリント①に正解を記入させ、誤差の合計を計算させて、その結果をプリント②に転記させる。グループの得点を報告させてグループの順位を決定し、残り時間を見ながら個人の三位～五位ぐらいまでを決定する。
- 4 振り返りの為の感想を書かせながら、まとめをする。

グループ分け要領

全体が把握しやすいのは、4グループ程度と考えられる。

	17人	18人	19人	20人	21人	22人
3 グループ	6人×2 5人×1	6人×3 7人×1	6人×2 7人×1	6人×1 7人×2	7人×3 8人×1	7人×2 8人×1
4 グループ	4人×3 5人×1	4人×2 5人×2	5人×3 4人×1	5人×4 4人×1	5人×3 6人×1	5人×2 6人×2
5 グループ	3人×3 4人×2	4人×3 3人×2	4人×4 3人×1	4人×5 4人×1	4人×4 5人×1	4人×3 5人×2

グループ分けカード

マークカード裏にA1～A6……D1～D6の数字を記入しておき、カードを引かせる。あなた方は次の12の品物をかろうじて取り出すことができました。

あなた方の課題は、これらの12の品物を、あなた方が生き残るために最も重要と思われるものから順番に、1から12までの順位をつけることです。生存者は、あなたの方のチームのメンバーと同数であり、またみんなが協力し合うことを同意しています。

- 懐中電灯 (乾電池が4つ入っている)
- ガラス瓶に入っている食塩 (1000錠)
- この地域の航空写真の地図
- 1人につき1リットルの水
- 大きいビニールの雨具

「食用に適する砂漠の動物」という本

- 磁石の羅針盤
- 1人1着の軽装コート
- 弾薬の装填されている45口径のピストル
- 化粧用の鏡
- 赤と白のパラシュート
- 約2リットルのウォッカ

解答のポイント

自力で町まで歩く? OR その場で助けを待つ?

正しいのは、助けを待つ事。飛行機が墜落して、2時間以内に発見される確率は80%だそうです。砂漠の中を110kmも歩くのは不可能であり、死に近づくばかりです。そこで動かずに脱水を防ぎ、一ヶ所で待つ方が助かる確率が高くなります。

短期戦か? OR 長期戦か?

正しいのは、短期戦。夜までいる、何日も助けを待つ、という事はあまり考えない方が良さそうです。

専門家による模範解答

ラング アイテム 理由

- 1 化粧用の鏡 鏡はかなり遠距離まで光が届き、捜索隊への信号になる
- 2 1人1着の軽装コート 太陽光線を肌に浴びさせないようにする。夜の寒さよけにもなる
- 3 1人につき1リットルの水 生存には不可欠だが、捜索隊に発見してもらおう事が最優先である
- 4 懐中電灯 (乾電池が4つ入っている) 夜の救助に光を使ってしらせるため
- 5 赤と白のパラシュート 広げて空からの目印にする
- 6 大きいビニールの雨具 砂嵐から身を守るため
- 7 弾薬の装填されている45口径のピストル 拳銃の音で知らせるため。また、仮に動物に襲われそうになったら、身を守る
- 8 磁石の羅針盤 町に向かっていくために必要だが、捜索隊に発見される事を目的とするため、あまり必要ない
- 9 この地域の航空写真の地図 周辺の地形をしるために必要だが、捜索隊に発見される事を目的とするため、あまり必要ない
- 10 「食用に適する砂漠の動物」という本 動物を捕まえるのは体力を消耗し、脱水症状を促進するため
- 11 約2リットルのウォッカ ウォッカを飲むと余計に喉が渇き、脱水症状を促進してしまうため。
- 12 ガラス瓶に入っている食塩 (1000錠) 塩は血液濃度があるため。また、脱水症状を促進してしまうため。

採点方法

それぞれの項目について、専門家による模範解答のランクからあなたのランクをひきます。

例えば模範解答が「12」であなたの回答が「9」の場合、失点は「 $12 - 9 = 3$ 」で3点となります。失点には＋を問わず絶対値で記入します。

失点は、あなたと専門家のランク付けの違いの大きさを示しています。個人で考えた結果の失点とグループで考えた結果の失点の合計を、それぞれ計算してください。失点が低ければ低いほどよいのです。

だいたい、一人で考えた結果より、グループで考えた結果のほうがよい結果を得られます。

まとめ

今回は「砂漠で遭難したら」というテーマでコンセンサスゲームを実施しましたが、他にも「月面で遭難したら（通称 NASA ゲーム）」などのテーマが有名です。以下の文章は、「月面で遭難したら」に関するサイトからの引用ですが、内容は「砂漠で～」とほぼ同様ですので、参考にしてみてください。

この問題は社会心理学者ジェイ・ホールが行った実験であり、NASAの模範解答との誤差が少ないほど優秀ということになる。

ジェイ・ホールがこのテストを行った目的は、個人テスト後、グループで協議することだった。

すなわち、個人の結果より、グループ協議の結果がよければ、「みんなで話し合うのは意義のあることだ」ということを、参加者に深く認識させるのに役立つものだ。

それだけではない。

このテストは、中小企業や零細商店、そして創業を目指す人にもすぐ役立つ。手持ちの資源で何ができるかを考えることで、限られた条件で企業や店舗が生き抜く上での、大切な知恵を養うことができるからだ。

重要さの順序を考えるとこの発想。

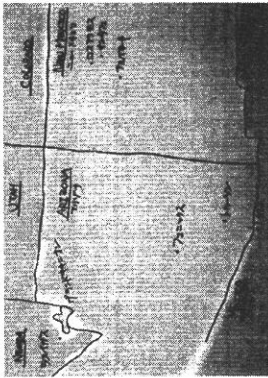
違う用途に活用できないかという発想。

そして、邪魔になる資産は、あえて捨てる覚悟をする発想。
それらの発想力を刺激する上で、役立つテストだったのだ。

「月面で遭難したらどうするか」

突拍子もないテストのように思われたかもしれないが、そういう期待を込めてのテストだったと、理解してほしい。

「月面で遭難したら（解答編）」 <http://www.koyanagimeijin.com/hitokuti-24.html>



コンセンサス (合意) ゲーム

月 日 () () 年 () () 組 () () 番 氏名 () ()

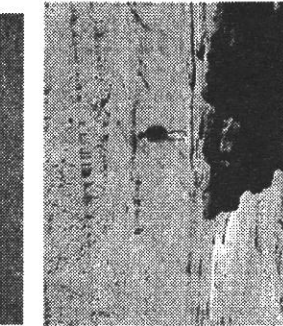
「あなたは砂漠で生き残れるか」

シチュエーション「砂漠で遭難したときにどうするか？」

7月中旬のある日、午前10時ごろ、あなた方が乗った小型飛行機は、アメリカ合衆国の南西部にある砂漠の中に不時着しました。不時着した際、飛行機は大破炎上、操縦士と副操縦士は焼死しましたが、あなた方は奇跡的に大きな怪我もなく無事でした。



不時着はあまりに突然で、無線で救援を求めると時間もなく、また現在位置を知らせる時間もありませんでした。しかし、不時着する前に見た周りの景色から、あなた方は飛行プランに示されているコースから約100 km 離れた所にいることがわかっていました。また、操縦士は不時着前に、最も近くの居住地は約110 km 南南西にあることだけをあなたの方に告げていました。この付近は全く平坦で、サボテンが生えている他は不毛の地域です。不時着直前の天気予報では、気温は約43℃になるだろうと言っています。それは、地表に近い足もとでは50℃にもなるだろうことを意味しています。



あなた方は、軽装～半袖シャツ、ズボン、靴下、タウニングラースという服装で、各々、各1枚のハンカチとサ小銭と100ドルの紙幣、1箱のタバコとボールペンを1本あるのみです。ただ飛行機が燃えてしまいう前に、あなた方は次の12の品物をかろうじて取り出すことができました。

あなた方の課題は、これらの12の品物を、あなた方が生き残るために最も重要と思われるものから順番に、1から12までの順位をつけることです。生存者は、あなた方のチームのメンバーと同数であり、またみんなが協力し合うことに同意しています。

【コンセンサスゲームのルール】

「設問」を読んで、まず、個人で12の品物に優先順位をつけて下さい。ただし、設問を考えている間は他の人と話さないようにして下さい。自分だけの答えを記入しますが、グループのメンバーに見せないようにして下さい。

次に、グループ全員で話し合っしてグループとしての順位をつけて下さい。グループとしての決定の方法には、「多数決」や個人決定の「平均値」を出して見るなどの方法も考えられますが、今日はグループのメンバー全員の合意(コンセンサス)で決定して下さい。これが、今日のシミュレーションの課題です。メンバー全員で自由に話し合っして、「全員の合意」でグループとしての結論を出して下さい。

コンセンサス(合意)によってグループの意思を決定するのは、なかなか大変ですが、よい話し合いができるように頑張って下さい。

25分間の話し合いの後、正解を発表するので、個人、グループ、それぞれの答えとの誤差を計算して下さい。例えば、自分の答えが3、正解が7の時、誤差は4、また、自分の答えが7で、正解が3の時も誤差は4となります。合計が少ないほど優秀です。

品目	個人		グループ		正解
	優先順位	誤差	優先順位	誤差	
懐中電灯(乾電池が4つ入ってる)					
ガラス瓶に入っている食塩(1000錠)					
この地域の航空写真の地図					
1人につき1リットルの水					
大きいビニールの雨具					
「食用に適する砂漠の動物」という本					
磁石の羅針盤					
1人1着の軽装コート					
弾薬の装填されている45口径のピストル					
化粧用の鏡					
赤と白のパラシュート					
約2リットルのウォッカ					
合計点					

コンセンサス (合意) ゲーム

月 日 () () 年 () 組 () 番・氏名 ()

「あなたは砂漠で生き残れるか」解答編

【専門家によるポイント・アドバイス】

◎「自力で町まで歩く」か「その場で助けを待つ」か？

正しいのは、助けを待つ事。飛行機が墜落して、2時間以内に発見される確率は 80% だそうです。砂漠の中を 110km も歩くのは不可能であり、死に近づくばかりです。そこで動かずに脱水を防ぎ、一ヶ所待つ方が助かる確率が高くなります。

◎「短期戦」か「長期戦」か？

正しいのは、短期戦。夜までいる、何日も助けを待つ、という事はあまり考えない方が良さそうです。

【専門家による模範解答】

ランク	アイテム	理由
1	化粧用の鏡	鏡はかなり遠距離まで光が届き、捜索隊への信号になる
2	1人1着の軽装コート	太陽光線を肌を浴びさせないようにする。夜の寒さよけにもなる
3	1人につき1リットルの水	生存には不可欠だが、捜索隊に発見してもらおう事が最優先である
4	懐中電灯 (乾電池が4つ入ってる)	夜の救助に光を使ってしらせるため
5	赤と白のパラシュート	広げて空からの目印にする
6	大きいビニールの雨具	砂嵐から身を守るため
7	弾薬の装填されている45口径のピストル	拳銃の音で知らせるため。また、仮に動物に襲われそうになったら、身を守る
8	磁石の羅針盤	町に向かっていくために必要だが、捜索隊に発見される事を目的とするため、あまり必要ない
9	この地域の航空写真の地図	周辺の地形を知るために必要だが、捜索隊に発見される事を目的とするため、あまり必要ない
10	「食用に適する砂漠の動物」という本	動物を捕まえるのは体力を消耗し、脱水症状を促進するため
11	約2リットルのウォッカ	ウォッカ (酒) を飲むと余計に喉が渴き、脱水症状を促進してしまうため。
12	ガラス瓶に入っている食塩 (1000錠)	塩は血液濃度があがるため。また、脱水症状を促進してしまうため。

個人のポイント	個人の順位	グループのポイント	グループの順位

砂漠ゲームをしてみての感想を書いてみよう。(分かったこと・気づいたこと等)

自己評価欄	5	4	3	2	1
教師評価欄	5	4	3	2	1